

海老名市立杉久保小学校 学校運営協議会 議事録
(令和8年度 第2回)

- 1 日時 令和8年10月1日(木) 9:30~11:00
- 2 場所 海老名市立杉久保小学校 校長室・体育館
- 3 出席委員 伊藤健三委員長、岩崎佐容子委員、佐藤憲一委員、山室修次委員、山口勝広委員、坂田美帆委員、山田優委員、東優也委員

4 会議の内容

(1) はじめに

伊藤委員長：毎年の音楽会を楽しみにしている。風邪などの様子が心配であるが、元気に過ごしてほしいと思っている。音楽会のために準備してきたことを精一杯発揮してほしいと思う。

(2) 音楽集会参観後の感想共有

伊藤委員長：子どもたちが一生懸命やっていることが伝わってきた。見ている方も楽しかった。自分をどう表現しようとしているかが気になっていたが、とても輝いていた。先生方の指導もよかったのだと思う。声がよく出ていることに驚いた。自分のことを表に出すことは難しく、舞台に立つと緊張してしまいが、5年の合奏、6年のコーラスが印象的。それぞれの学年でテーマを設定して目標に向かって取り組むことが素敵だった。4年生の「心を合わせて」というのが表れていてよかった。

山室委員：力が年々上がっているように思う。毎年観させていただいているが、演奏はもちろんパフォーマンスとして体を使って表現する力が上がっているのではないかなと思う。運動会とはまた違う完成形を見ることができた。先生方の指導も充実しているのが伝わってきた。

佐藤委員：3年生の「寿限無」は、難しいことをよく覚えて頑張ったと思う。高学年になるにつれてよかった。はじめの言葉の場面(ことばを伝える場面)では、大人も様々な場面でついつい早口になってしまうが、もう少しゆっくり落ち着いたある話し方になるともっとよくなると思った。音楽集会の全体の一部としてよくなるといい。体全体で表現する場面が素晴らしかった。

山室委員：観衆が拍手する合間を作るといいのではないかな。

山口委員：素直に楽しむことができた。中学時代から吹奏楽を続けていて、自分自身の人生の原点が「楽器に触れたこと」だった。音楽や合奏の楽しさを知る

機会になればいいなと思う。音楽への得意不得意は様々だと思うが、頑張っていた。同じ曲でも曲調を変えて演奏したり、移調して演奏したりして高度なことに取り組んでいると感じた。

岩崎委員：元気をもらえて楽しかった。歌も演奏も体全体で表現していてよかった。一生懸命話しているのに聞き取れず、少し残念だった。体を動かして演奏していることがよかった。

佐藤委員：オーディションで不合格になった児童への支援（フォロー）はどうするのか。

坂田教頭：音楽担当と担任の先生が支援して、丁寧にフォローをしている。先生の声掛けにより、子どもたちはオーディションに参加したことに意義を感じ、達成感を味わえるようにしている。しかし、やりたかった気持ちも大切にし、活躍できる場を設け、支援している。

山室委員：4年生のマーチング、6年生のダンスを取り入れていることは新しく面白かった。音楽会の在り方として今後どうなるか楽しみだ。

山田総括教諭：学年により、テーマを決め、曲想に合わせて演奏スタイル等を工夫している。学年に応じて、「音」を「楽しむ」という時間を創り出している。

（３）地域協力による学習活動について

山田総括教諭：6年生の総合的な学習の時間では、子どもたちの地域の様子を想起し、関心のあることを基にし、課題をもち進めている。今年度は、川口さん（キャベツ農家）、柳田さん（トマト農家）、市農政課（いちご）に協力をいただき、地域の「財」を生かした取り組みを行っている。現在、学年園で栽培をしている。次回以降の会議でもそれらの様子について話題にできればよいなと思う。

佐藤委員：自治会でも子どもたちを巻き込んだ取り組みを模索している。コロナ以前には、小学生3・4年生が敬老の集いで歌を歌ってくれたこともあった。何かそのような取り組みを実施できないかと考えている。地域と子どもたちとの関わりについて、継続的な話し合いができれば嬉しい。

山田総括教諭：地域もちろんですが中学校との連携も模索している。協働して学びづくりができるように進めていきたいと考えている。併せて、子どもの森の活用にもご協力をいただきたい。

（４）その他

次回の、第3回学校運営協議会は、令和8年12月11日（金）10：00から開催予定。